

事例部門 優秀賞 (信州建築構造協会会長賞)

## 古民家再生 ～100年余の時を経てよみがえった2世帯住宅～

所在地 上田市  
構造 木造2階建  
延べ面積 323.07㎡  
応募者 樹林工務店 代表 林正道

### 作品のコンセプト

先祖代々大切にしてきた住宅を、耐震性・省エネ性を向上し、2世帯が楽しく快適な空間になる様よみがえらせたいというお施主様の思いから、古き良い材料は残す民家再生工事の施工方法を採用。



当初の建物の雰囲気なるべく再現した古民家らしい佇まい



3代にわたる家族が全員でくつろげる36帖あるリビング



吹き抜けは、明るさの確保のほか、2階の世帯とのコミュニケーションを容易にしている

天窗を設置し、北側の明るさを確保



地元赤松の梁を残し、当時の雰囲気を復元した2階吹き抜けホール

### 信州での「住まい方」 応募者の思い

先祖から受け継がれた信州に適した住宅を、家族の意思を統一し、家族一体となって修復し住み継いでいく住まい方は、

今後のあるべき住まいづくりのひとつ。

### 審査員講評

建物の外観は漆喰の白壁に腰板は杉の下見板張り、木製のベンダグ手摺など風格がある。建物内部は大きな吹き抜けが新しく設けられ、リビングを明るくしている。

古民家再生の魅力は、何と言っても使用材料の骨太さである。本建物は建物全体を北側へ曳家することで土台と基礎部分を新規

に設け、緊結することで重要な部分を補強している。上部構造は、耐力壁の量と配置のバランスと接合部の補強により改修されている。

このように先祖代々大切にされてきた家を改修し住み続けることは、これからの我が国にとって大切なことである。(山辺 豊彦)